

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

溶接学会若手会員の会・勉強会について

若手会員の会運営委員会 委員 廣畑 幹人 (名古屋大学)

An announcement about the WELNET workshop

1. 勉強会の目的

溶接学会若手会員の会では、様々な分野の若手研究者のコミュニティが形成されている。溶接・接合学術分野の将来を担う人材育成と研究交流をさらに活性化させるため、次のような目標を掲げて、平成25年度に若手会員の会の新たな活動の一つとして勉強会を立ち上げた。

目標1：若手研究者間の知識・技術ベースアップ

目標2：将来を担う研究グループづくり（若手会員から研究会発足へ）若手同志での研究チームづくり、将来的に溶接学会のミニ研究会、アドホック研究会へつなげる。

各メンバーのベースアップと若手同志のネットワークを形成することが勉強会の基本方針であるが、勉強会の成果をどのような形で還元していくかを念頭に置く必要があるため、下記のような具体的な出口を意識しつつ、将来の共同研究プロジェクトなどにつながるような人材育成・交流を図ることを勉強会の主旨とする。

- ・若手研究会や全国大会フォーラムなどで成果報告
- ・溶接学会誌の若手自由ページでの活動報告
- ・ミニ研究会やアドホック研究会の立ち上げ（その準備会的役割）
- ・メンバーでの共同研究プロジェクトの立ち上げと研究成果の公表（学術論文投稿）

2. 勉強会のメンバー

勉強会の開催に先立ち、企業および大学の若手研究者の有志に勉強会の主旨を説明し、参加を募った。また、随時参加者の募集を行い、2015年8月現在で以下の15名によりメンバーを構成している。

岡田徹（新日鐵住金）、岡野成威（大阪大学）、小椋智（大阪大学）、尾崎仁志（三重大学）、門井浩太（広島大学）、小谷祐樹（川田工業）、小濱和之（大阪大学）、高嶋康人（大阪大学）、谷口公一（JFEスチール）、野村和史（大阪大学）、藤井啓道（東北大学）、松嶋道也（大阪大学）、松本直幸（IHI）、三上欣希（大阪大学）、廣畑幹人（名古屋大学）（敬称略）

3. 勉強会のルール

勉強会への参加意思を表明したメンバー間で、勉強会のルールについて下記の通り取り決めた。

- (1) 勉強会参加者は聴講するだけでなく話題提供をする義務を負う。
- (2) 上記の条件を理解したうえで参加できる者に限定し、飛び入り参加等は基本的に認めずにクローズドなメンバーで勉強会を実施していく（気まぐれで聴講して、情報収集だけするケースを防止するため）。
- (3) 勉強会での議論の内容は、基本的に公知のものになるという認識で取り扱う。この認識の下で、話題提供者は個々に内容を判断する。

4. 勉強会の開催状況

<第1回>

- ・日 時：平成26年4月24日（木）13:00 - 16:40
- ・場 所：東京ビックサイト 会議棟 6階 604 会議室
- ・出席者：岡野，小椋，高嶋，野村，松嶋，三上（阪大），
門井（広島大），岡田（新日鐵住金），
谷口（JFE スチール），尾崎（三重大），
藤井（東北大），松本（IHI），小谷（川田工業），
廣畑（名古屋大） 計14名

・話題提供

講演者①：高嶋康人（大阪大学）

「溶接部の靱性評価に用いられるシャルピー衝撃特性の確率論的性質」

講演者②：廣畑幹人（名古屋大学）

「土木鋼構造物の溶接部における腐食特性および防食塗装の劣化特性」

<第2回>

- ・日 時：平成26年7月19日（土）9:00 - 11:40
- ・場 所：東北大学 会議室
- ・出席者：岡野，小椋，高嶋，松嶋，三上（阪大），
門井（広島大），岡田（新日鐵住金），
藤井（東北大），廣畑（名古屋大） 計9名

・話題提供

講演者①：門井浩太（広島大学）

「溶接部における高温割れの基礎理論ならびに割れ評価への取り組み」

講演者②：岡野成威（大阪大学）

「溶接変形・残留応力の基礎理論ならびに非破壊応力計測技術」

<第3回>

- ・日 時：平成26年11月7日（金）10:30 - 12:00
- ・場 所：大田ビジネスコミュニティセンター OBC
- ・出席者：岡野，高嶋，三上，野村（阪大），
門井（広島大），尾崎（三重大），松本（IHI），
藤井（東北大），岡田（新日鐵住金），谷口（JFE），
廣畑（名大） 計11名

・話題提供

講演者：松本直幸（IHI）

「レーザプロセスの基礎およびレーザ溶接の各種適用事例」

<第4回>

- ・日 時：平成27年4月24日（金）13:30 - 16:30
- ・場 所：学術総合センター 中会議場1
（溶接学会全国大会第4会場）
- ・出席者：岡野，小椋，三上，野村，小濱（阪大），
門井（広島大），松本（IHI），藤井（東北大），
廣畑（名大） 計9名

・話題提供

講演者①：藤井啓道（東北大学）

「EBSD法を用いた接合界面組織の解析」

講演者②：小椋智（大阪大学）

「アルミニウム合金の組織と機械的特性」

<第5回>（予定）

- ・日 時：平成27年9月28日（月）13:00 - 16:00
- ・場 所：大阪大学

・話題提供

講演者①：野村和史（大阪大学）

「アーク溶接プロセスの可視化に関する取り組み（仮）」

講演者②：三上欣希（大阪大学）

「溶接変形・残留応力の数値解析における連成効果の考慮について（仮）」

<第6回>（予定）

- ・日 時：平成27年11月12日（木）10:00 - 12:00
- ・場 所：川田工業株式会社，四国工場
- ・話題提供：未 定

5. 勉強会の成果について

これまでに開催した勉強会を通して、メンバーどうしの情報交換および技術交流を図ってきた。その結果、藤井啓道氏（東北大学）を主査とし、小椋智氏（大阪大学）をメンバーに含む形で、「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」に関するミニ研究会の発足を溶接学会に申請し、平成27年6月から活動を開始することとなった。ミニ研究会の詳細は溶接学会誌84巻6号を参照されたい。

ミニ研究会：アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象

活動期間：平成27年6月～平成28年5月

主 査：藤井啓道（東北大学）

委 員：前田将克（日本大学），小椋智（大阪大学），
佐々木朋裕（新潟大学），濱田賢祐（超音波工業），齋藤慎哉（ケーヒン），杉山善崇（矢崎総業），長田智司（日本サーモニクス）
（敬称略，下線は勉強会メンバー）

また、著者（廣畑，名古屋大学）は勉強会を通じて高嶋康人氏（大阪大学接合科学研究所）と溶接構造用鋼材の靱性評価に関する研究について意見を交換し、課題を共有して共同研究を計画している。大阪大学接合科学研究所の共同研究員制度に申請しており、平成27年10月より活動を開始する予定である。

勉強会のメンバーによる共同研究の具体的な成果が得られるまでは時間を要すると思われるが、まずは、メン

バー間の交流を通して共同研究を開始したことで、勉強会を発足し活動してきた意義があるものと確信している。

6. 勉強会新規メンバーの勧誘

溶接学会に所属する若手技術者、研究者（40歳程度まで）に対し、勉強会への参加を随時案内している。3. に記した勉強会のルールに対して、参加のハードルが高い

と感じるケースがあるが、まずは仮の参加で勉強会の様子を把握していただき、その後の参加を検討していただくことも可能である。若手技術者、研究者に加え、今後の溶接業界を担う大学院博士課程の学生にも参加を呼びかけ、将来的な技術者、研究者間のネットワーク形成のために勉強会をさらに活性化させていきたいと考えている。

読者の **Goiken-bako** (御意見箱) 受付中! 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送またはFAXでお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号1名様にQuoカードを差し上げます。

◆送付先： 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係 FAX: 03-5825-4331
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 (Subjectに”Goiken-bako”と御記入ください)
溶接会館6F

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名、フリガナ、年齢、溶接学会入会年、所属、住所 (Quoカード送付先)
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。()
- (3) 「自由編集ページ」についてのご意見・ご感想.
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事 (ページ番号でお答えください).
- (4-2) 今月の溶接学会誌についてのご意見・ご感想.
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事.
- (6) その他、若手会員の会、溶接学会の各種活動についてのご意見・ご感想.